

富士見池(富士見池調節池)

富士見池調節池は、石神井川の氾濫による浸水被害を防ぐことを目的に、増水した水を一時的に貯留するため、富士見池を活用して造られた施設です。また武蔵関公園地下にも貯留槽を設置し機能を拡張しました。川の水位が一定以上になると、川と調節池をつなぐ堰(せき)から調節池に水が流入する仕組みとなっており、貯留した水は水位が下がった後、川に戻します。この調節池を有効利用するため、ボート場を運営しています。

ボート乗り場のご案内

営業期間 3月15日から11月30日まで

営業時間 午前9時30分～午後4時30分
(受付は午後4時まで)

休業日 毎週月曜日(祝日の場合は翌日)

荒天など利用者の安全確保ができない場合は臨時休業します。

ボート乗船料金

1艘あたりの料金(定員3名)

利用者区分	乗船料金	
	30分	60分
一般の方のみ (高校生から64歳まで)	200円	400円
小・中学生または、65歳以上 75歳未満の方が含まれる	100円	200円
未就学児または、 75歳以上の方が含まれる	無料 受付にお申し出ください	

武蔵関公園ボート管理事務所

Tel 03-3928-2484

アクセス

- 所在地 練馬区関町北3-45-1
 - 交通 西武新宿線東伏見駅下車徒歩5分
西武新宿線武蔵関駅下車徒歩10分
- ※駐車場はございません。



以下のQRコードから練馬区ホームページ「区立の庭園と主な公園」をご覧ください。



練馬区西部公園出張所

〒177-8509

練馬区石神井町3-30-26

石神井庁舎2階 Tel 03-3904-7557

令和5年(2023年)7月

練馬区立 武蔵関公園 ボート乗り場のご案内



武蔵関公園の概要

開園 昭和13年10月

公園面積 48,966.54㎡

富士見池調節池(昭和48年完成)

敷地面積 21,000㎡

貯留量 33,800㎡

遊歩道(池を一周する約1.2kmの遊歩道)

広場

トイレ、水飲み台、すべり台、ブランコ
砂場、鉄棒、健康遊具

沿 革

江戸時代、この地には、アシが茂り湧き水が注ぐ「関の溜井」と呼ばれる溜池がありました。大正時代には、地元住民が中心となり、遊具やボート場を整備し、私庭「若宮遊園」になりました。その後、東京市（当時）に寄贈され、昭和13年10月に「東京市立武蔵関公園」、昭和50年4月には、東京都から練馬区に移管され「練馬区立武蔵関公園」となり、現在に至っています。

公園の中心には、遊歩道に囲まれたひょうたん形の富士見池があります。四季折々に変化する樹木のある風景は、訪れる人を楽しませてくれます。

●歴史を感じさせる名木

園内には、この公園の歴史を感じさせる多くの木々があり、このうちムクノキとカツラの2本が「ねりまの名木」に選定されています。



ねりまの名木「カツラ」



あしの島のメタセコイヤ

公園内での魚釣り、野生の生き物に対する餌やりは禁止です。



標示の説明

- ▶ 公園入り口
- ♿ トイレ・多機能トイレ
- 🌳 ねりまの名木
- 🚤 ボート場
- 👤 水飲み台



ボート場とサクラ



武蔵関駅方面➡

←東伏見駅方面

●園内で見られるおもな野鳥

カワセミ、カルガモ、カイツブリ、ゴイサギ、キンクロハジロ、エナガ、メジロ、シジュウカラ、キセキレイ



カワセミ



キンクロハジロ



カルガモ